

令和4(2022)年度

福岡市埋蔵文化財センター一年報

第42号



2024

福岡市教育委員会

序

アジアに向けて開かれた福岡市は、古来より対外交流の拠点として歴史的に重要な位置を占めてきました。市内にはこのことを示す数多くの遺跡が残されています。

そのため、市内では数多くの発掘調査が行われており、出土した膨大な遺物や記録類を適切に保存、収蔵、管理し、また活用していくため、福岡市埋蔵文化財センターは昭和57年2月に開館しました。以来、二度にわたって増改築を行い、施設の充実に努めてまいりました。さらに、平成28年3月には増加する収蔵資料の保管場所として新たに月隈収蔵庫を取得し、埋蔵文化財文化財の適切な保管と活用に一層努めています。

さて、令和4年度は、ここ数年来のコロナ禍にありましたが、4年振りに臨時休館することなく、通常開館を続けることができました。考古学講座も感染予防策として、受講者数の制限を行いました。全回を予定どおり開催できた他、入館者数や資料閲覧・貸出数などもようやく増加に転じ、以前の状態に戻りつつあることを予感させる年でした。

今後ますます当センターの利用が図られ、埋蔵文化財の活用や保護に向けた意識が高まることを切に願います。

令和6年2月29日

福岡市教育委員会
教育長 石橋 正信

目次

I 埋蔵文化財センターの概要	1
1. 組織と職員	1
2. 施設	1
II 令和4年度の活動	3
1. 令和4年度予算及び決算	3
2. 令和4年度入館者数	3
3. 大規模改修工事	4
4. 資料の収蔵・整理	4
5. 教育普及	5
6. 保存処理	10
付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等	
付2 令和4年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書・年報報告一覧	

例言

1. 本書は令和4年度の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。
2. 本書の執筆は、II-1.を本山、II-2.を清金II-4.を久住、II-5.を松崎、II-6.を清金・藤崎、他を榎本が担当し、編集は榎本が行った。

<表紙写真解説>

比恵遺跡群第145次調査出土砂岩製筋砥石
弥生時代終末期の竪穴住居出土。残存長30.7cm、最大幅23.3cm、最大厚12.9cm。各面砥石として使用するが、上面には7条の断面U字の溝状研磨痕があり、玉作りに使用された「玉砥石」とみられる。(令和4年度収蔵)

I 埋蔵文化財センターの概要

1. 組織と職員

(1) 福岡市文化財行政の組織

平成 24 年度の機構改革で、文化財部（当時）は、経済観光文化局へ移管し、埋蔵文化財センターは所長のみ教育委員会と兼務となった。

文化財活用部の組織

文化財活用課	管理調整係 調査普及係 歴史資源活用係	部の総括、予算・決算、庶務・経理、文化財施設の管理 文化財保護審議会、文化財の調査、普及事業 文化財・歴史資源の活用推進
史跡整備活用課	福岡城跡整備係 鴻臚館跡整備係 史跡整備活用係	福岡城跡の調査・整備、課の庶務、福岡みんなの城基金 鴻臚館跡の調査・整備 史跡の保存・整備・活用
埋蔵文化財課	事前審査係 調査第 1 係 調査第 2 係	公共及び民間開発事業に係る埋蔵文化財の事前調整及び周知 主に東部地区における埋蔵文化財の発掘調査及び保存、 課の庶務 主に西部地区における埋蔵文化財の発掘調査及び保存、 課の庶務
埋蔵文化財センター	運営係 保存分析係	埋蔵文化財の収蔵・保管・展示等、教育普及 埋蔵文化財の保存・分析

(2) 埋蔵文化財センターの職員（令和 4 年度）

所長 榎本 義嗣	運営係長 本山 美和子	文化財主事 久住 猛雄 文化財主事 板倉 有太	会計年度任用職員 佐々木 蘭貞 (文化財教育普及専門員) 藤崎 彩乃 (保存処理指導員) ほか出土品整理等担当 9名
	保存分析係長 上角 智希	文化財主事 清金 良太	

2. 施設

当センターは福岡市博多区井相田 2 丁目 1-94 に所在し、敷地面積 4,000㎡、鉄筋コンクリート造 3 階建（建築面積 1,050㎡、延床面積 1,992㎡）の規模で昭和 57 年 2 月に開館した。その後、昭和 61 年 3 月に収蔵庫を主とした増築（増築面積 1,035㎡、増延床面積 1,994㎡）を行った。さらに平成 9 年度から大規模な増築・改造を実施し、平成 11 年 4 月にリニューアルオープンの運びとなった。現在、敷地面積 7,481㎡、建築面積 3,987㎡、延床面積 10,713㎡の施設規模である。

また、収蔵庫のスペース不足を解消するため、平成 28 年 3 月に農林水産省より用途廃止されていた旧福岡政府倉庫（同区月隈 1 丁目 13-17 所在）を新たな収蔵庫として有償取得した。敷地面積 24,974㎡、建築面積 8,347㎡、延床面積 8,639㎡の施設規模である。なお、建物は管理棟・西棟倉庫（鉄筋コンクリート造 2 階建、建築 4,339㎡、延床 4,631㎡）、東棟倉庫（鉄筋コンクリート造平屋建、建築・延床 4,008㎡）の 2 棟に分かれ、改修や棚設置を進めている。

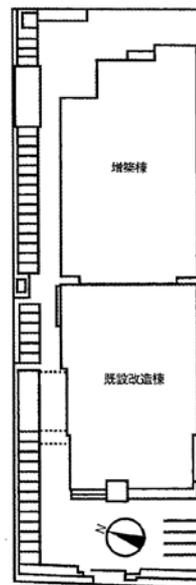
ホームページ URL <https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/maibun/>

※ ホームページの詳細は p9 参照

主な施設

施設区分	室名	床面積 (㎡)
教育普及	第1展示室	167.00
	第2展示室	127.00
	第3展示室	61.00
	研修室	140.00
	図書室・図書コーナー	181.00
	貸出準備室	85.00
	資料閲覧室	58.00
収蔵	収蔵庫	5,601.00
	特別収蔵庫	547.00
	記録類収蔵庫	192.00
	荷解・搬入室	65.00
	消毒室	23.00

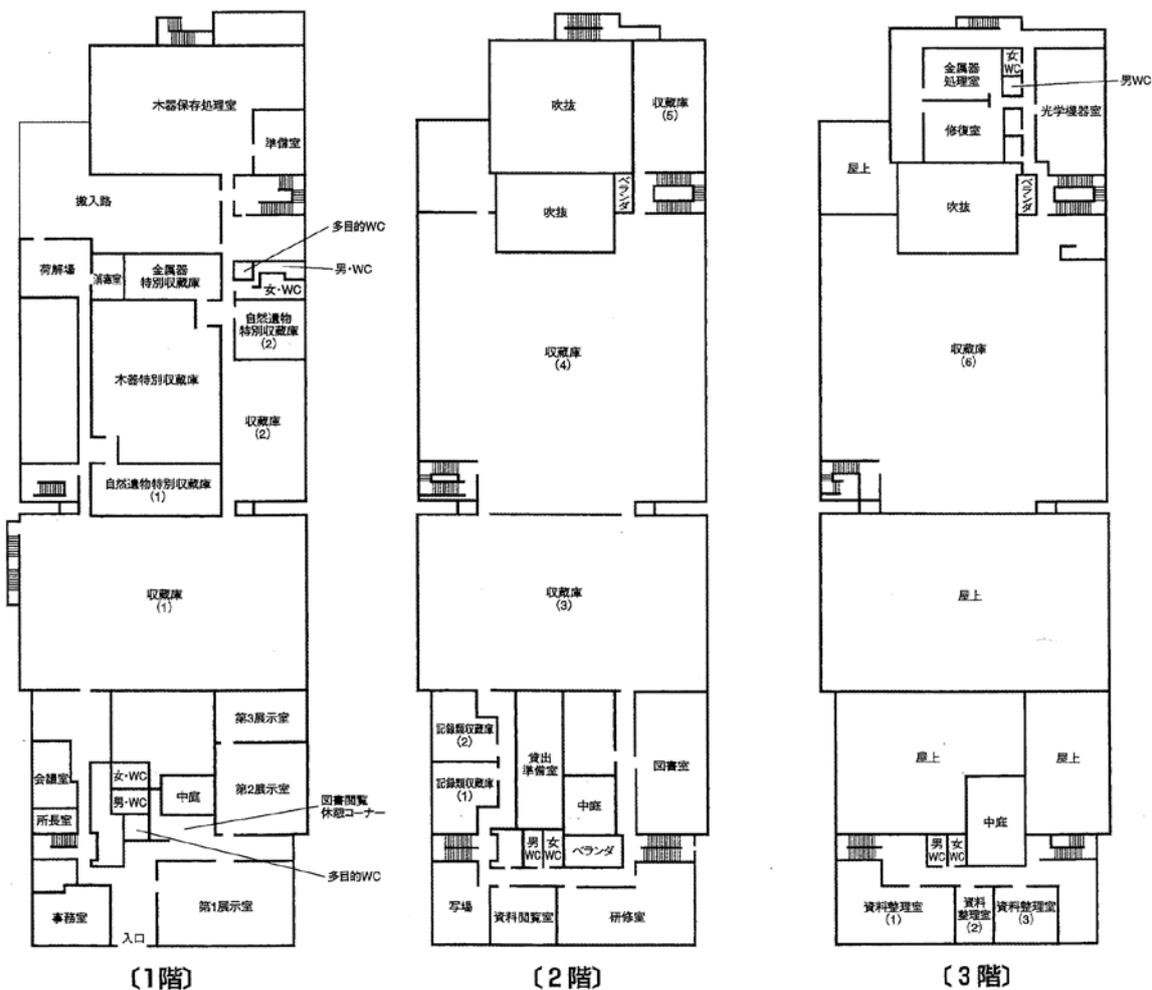
施設区分	室名	床面積 (㎡)
保存処理	木器保存処理室	426.00
	金属器処理室	156.00
	分析室(光学機器室)	154.00
資料整理	洗浄室	37.00
	資料整理室	235.00
管理	写場・暗室	63.00
	倉庫	58.00
	事務・会議室等	140.00
	警備・機械室等	258.00
その他	通路・エレベーター等	1,434.00
	庇・トラックヤード等	505.00
	計	10,713.00



建物配置図 ▶

正面入口

▼ 施設平面図



福岡市埋蔵文化財センター平面図および諸室の面積

Ⅱ 令和4年度の活動

1. 令和4年度予算及び決算

(1) 歳入 (千円)

	計	国庫補助金	使用料 及び手数料	諸収入	市債
当初予算	217,333	3,241	60	32	214,000
決算	235,443	3,199	123	121	232,000

(2) 歳出 (千円)

	計	管理運営費	事業費
当初予算	384,515	87,532	296,983
決算	397,303	77,801	319,502

※決算額には、令和3年度の月限収蔵庫改修工事費の繰越を含む

2. 令和4年度入館者数

(1) 月別入館者数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率 (%)
日 数	26	26	26	27	26	26	26	26	23	23	24	27	306	
個 人	168	213	181	159	164	181	182	199	177	161	218	268	2,271	89.5%
学 生	2	4	5	14	9	2	6	1	1	1	3	3	51	2.0%
小学生	3	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	9	0.4%
中学生	0	2	1	0	1	0	0	4	0	0	0	6	14	0.6%
高校生	0	5	11	15	41	15	11	27	6	2	29	10	172	6.8%
その他	0	0	2	2	1	0	3	1	1	4	0	6	20	0.8%
小計	5	11	19	36	52	17	20	33	8	7	32	26	266	10.5%
合 計 (a)	173	224	200	195	216	198	202	232	185	168	250	294	2,537	100.0%
団 体	2	81	24	52	21	66	34	108	0	115	32	377	912	92.6%
(団体数)	2	4	2	3	2	2	2	5	0	5	5	5	37	
小学生	0	0	19	19	0	0	30	0	0	0	0	0	68	6.9%
(団体数)	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
中学生	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0.5%
(団体数)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
(団体数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大学生	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	10	1.0%
(団体数)	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
合 計 (b)	2	81	46	71	21	66	64	108	0	115	32	379	985	100.0%
(団体数計)	2	4	4	4	2	2	3	5	0	5	5	6	42	
総 計 (a+b)	175	305	246	266	237	264	266	340	185	283	282	673	3,522	
1日平均 (人)	7	12	9	10	9	10	10	13	8	12	12	25	12	
出前授業 (人)	0	504	353	533	177	557	454	494	0	0	0	0	3,072	
(学校数)	0	7	8	7	2	6	4	5	0	0	0	0	39	

(2) 個人入館者年齢区分

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (人)	比率 (%)
0～19才	5	8	7	21	14	4	8	7	3	5	6	12	100	3.9%
20～29才	14	15	29	23	49	33	23	45	16	9	29	35	320	12.6%
30～39才	20	27	27	25	27	32	20	20	37	34	30	31	330	13.0%
40～49才	29	40	29	44	42	40	44	41	47	27	40	57	480	18.9%
50～59才	46	54	49	41	38	40	44	55	42	45	69	67	590	23.3%
60～69才	35	45	33	18	29	26	33	37	31	30	50	51	418	16.5%
70～79才	22	30	22	20	16	19	26	27	8	16	23	39	268	10.6%
80才以上	2	5	4	3	1	4	4	0	1	2	3	2	31	1.2%
計	173	224	200	195	216	198	202	232	185	168	250	294	2,537	100.0%

(3) 個人入館者住所区分

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (人)	比率 (%)
福 岡 市	109	136	143	130	141	112	125	113	120	110	134	170	1,543	60.8%
福 岡 県 内	38	38	39	37	36	47	31	39	36	33	45	48	467	18.4%
県 外	26	49	17	25	39	39	42	68	28	25	70	76	504	19.9%
国 外	0	1	1	3	0	0	4	12	1	0	1	0	23	0.9%
計	173	224	200	195	216	198	202	232	185	168	250	294	2,537	100.0%

(4) 過去5年間の月別入館者数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (人)
平成30年度	225	704	535	428	575	424	519	455	401	301	337	421	5,325
平成31・令和元年度	205	639	578	479	401	382	462	351	427	292	231	100	4,547
令和2年度	7	76	154	232	350	173	247	287	262	300	230	231	2,549
令和3年度	179	140	183	163	198	91	345	446	283	226	235	296	2,785
令和4年度	175	305	246	266	237	264	266	340	185	283	282	673	3,522

新型コロナウイルス感染症防止のため、令和元年度に23日間、同2年度に44日間、同3年度に93日間臨時休館した。

開館以降累計入館者数 (人) 403,588

3. 大規模改修工事

昭和 57 年に開館し、令和 4 年で築 40 年を迎えた当センターは、施設や設備の老朽化が著しいことから、施設の長寿命化に向けて、開館以来最も規模の大きな改修工事を令和 4 年度より着手し、次年度以降も継続していくこととしている。なお、令和 3 年度に全体の基本設計および 4 年度工事にかかる実施設計を終えている。

令和 4 年度は主に建物の外側部分を対象とし、外構、屋上防水、外壁を改修した。特に外構部分では、既存のブロック積みや植栽を除去し、フェンスおよび芝張り施工を行った。

大規模改修工事の経過と費用

年度	事業内容	費用（千円）
令和 3 年度	・基本設計 ・外構他実施設計 ・石綿分析調査他	16,689
令和 4 年度	・外構工事 ・屋上防水工事 ・外壁工事他	175,929
	計	192,618

4. 資料の収蔵・整理

(1) 収蔵方針

福岡市では、文化財行政を文化財活用部が主管し、記録保存目的の発掘調査を埋蔵文化財課が、保存目的の発掘調査を史跡整備活用課がそれぞれ担当している（本書 I-1 参照）。福岡市埋蔵文化財センター（以下、「センター」）では、昭和 60（1985）年に策定した「埋蔵文化財資料の収蔵整理要項」（『福岡市埋蔵文化財センター年報』第 5 号所収）に従い、発掘調査担当課が整理・報告を行った出土遺物、記録類の収蔵を行っている。国民の協力を得て実施される発掘調査の成果は、速やかに一般公開され、広く市民や研究者に活用される必要がある。センターでは、収蔵整理要項を実情にあわせて改訂・運用しつつ、発掘調査成果が円滑に一般公開できるよう発掘調査担当課と緊密な連携を図っている。

(2) 令和 4 年度の本収蔵

令和 4 年度の本収蔵は、埋蔵文化財課など発掘調査担当課（「埋文課」と区分）から搬入・収蔵されたもの 69 件（新規本収蔵 51 件、追加収蔵 18 件）、センターで収蔵したもの 67 件（寄贈 3 件含む）のあわせて 136 件である。なお「埋文課」区分の 1 件は、文化財活用課による埋蔵文化財以外の市内文化財記録の収蔵である。内訳は、新たに遺物コンテナ 2,779 箱、甕棺（等大型土器類）

42 基が登録された。4 年度の収蔵数は 3 年度より大幅に増加している。これは近年の発掘調査件数が多かったことと、センターの本館（井相田）の収蔵庫が満杯になる見込みになったため、本館収蔵庫への収蔵を希望する調査資料が多かったためである。しかしながら、4 年度途中ですでにセンターの本館収蔵庫の収蔵限界が見えて来たため、4 年度の一般遺物の収蔵は、月限収蔵庫への収蔵も平行して行うことになった。また、5 年度以降の一般遺物の収蔵は、そのほとんどは月限収蔵庫となる予定である（なお下記「本収蔵数一覧」は、3 年度の収蔵数などについて、昨年度年報の報告数値を精査の結果修正した部分がある）。4 年度の写真収蔵は、近年では収蔵数が多かった 2 年度と比較しても、大幅に増加している。その多くはデジタル写真の収蔵であり、今後デジタルデータの保存管理やバックアップが課題となろう。

令和 4 年度末までにセンターに収蔵された資料は調査 2,204 件分（新規収蔵件数）で、追加収蔵、寄贈受入まで含めた収蔵数は 3,105 件である。4 年度末までの調査総数 2,778 件（調査件数は福岡市主体調査数および収蔵調査数を精査したもの）に対して、収蔵率は約 79% である。引き続き、整理作業・報告書作成を行う発掘調査担当課と収蔵作業について連携を図りつつ、センターにおいても仮収蔵資料の整理・収蔵作業を進める必要がある。

本収蔵数一覧（平成30～令和4年度）

年度	収蔵区分	新規 遺跡数	追加 遺跡数	寄贈・採集 受入件数	登録遺物 点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			デジタル 写真（枚）	写真 カード（枚）	図面（枚）	
						墓棺（個）	コンテナ（箱）	35mm（本）	6×7（枚）	4×5（枚）	35mm（枚）	6×7（枚）	4×5（枚）			遺構	遺物
2018 (H30)	埋文課	37	0	0	17,893	7	1,783	285	2,643	0	6,407	2,347	0	10,664	1,787	966	1,705
	センター	1	48	5	6,159	11	118	3	31	0	193	6	0	218	142	29	88
	年度合計	38	48	5	24,052	18	1,901	288	2,674	0	6,600	2,353	0	10,882	1,929	995	1,793
2019 (R1)	埋文課	38	13	0	12,787	16	1,647	97	1,357	0	2,762	1,092	33	5,672	820	714	780
	センター	3	6	3	4,671	1	374	87	679	0	1,891	71	0	0	446	383	297
	年度合計	41	19	3	17,458	17	2,021	184	2,036	0	4,653	1,163	33	5,672	1,266	1,097	1,077
2020 (R2)	埋文課	20	8	0	32,196	73	10,352	217	2,525	60	3,361	1,686	24	15,845	1,648	1,196	4,527
	センター	2	16	1	3,038	0	206	19	148	0	270	23	0	0	158	111	103
	年度合計	22	24	1	35,234	73	10,558	236	2,673	60	3,631	1,709	24	15,845	1,806	1,307	4,630
2021 (R3)	埋文課	20	7	0	32,095	14	2,264	59	675	0	1,938	597	0	5,858	486	402	821
	センター	2	46	3	442	3	32	14	81	0	185	17	0	0	33	29	176
	年度合計	22	53	3	32,537	17	2,296	73	756	0	2,123	614	0	5,858	519	431	997
2022 (R4)	埋文課	51	18	0	31,305	15	2,497	228	1,979	0	5,607	1,788	0	24,892	1,326	1,339	1,991
	センター	6	58	3	4,116	27	282	286	45	7	486	32	0	0	113	282	259
	年度合計	57	76	3	35,421	42	2,779	514	2,024	7	6,093	1,820	0	24,892	1,439	1,621	2,250
計	埋文課	1,853	155	0	1,258,640	1,384	115,543	20,229	314,152	3,878	361,339	120,325	2,244	91,889	190,350	85,644	93,067
	センター	351	675	71	171,428	488	19,013	6,280	51,129	3,661	78,810	10,026	576	2,566	35,803	14,374	15,012
	総計	2,204	830	71	1,430,068	1,872	134,556	26,509	365,281	7,539	440,149	130,351	2,820	94,455	226,153	100,018	108,079

※計は昭和61～令和4年度

★「埋文課」は埋蔵文化財課以外に、史跡整備活用課等の調査担当課からの収蔵の総称である。

※昨年度年報掲載データを一部修正している。

(3) 収蔵環境の整備

収蔵資料のうち土器・石器などは一般収蔵庫に、金属器・木製品・自然遺物・玉類などは特別収蔵庫に収蔵している。また、写真類は第一記録類収蔵庫に、図面類は第二記録類収蔵庫および本館3階特別収蔵庫に、写真カードは第一資料整理室に収蔵している。

本館（井相田）の一般収蔵庫は4年度に収蔵

量の限界にほぼ達したため、一般遺物の収蔵は、平成27年度に月隈政府倉庫を取得して整備した「月隈収蔵庫」への収蔵にほぼ移行している。月隈収蔵庫は、平成30年度より棚10段の鋼製収蔵棚を毎年度順次設置しており、今後も設置を進めていく予定である。月隈収蔵庫には、4年度末までに遺物3,599箱が収蔵されている。

5. 教育普及

埋蔵文化財センターでは、発掘調査の成果や資料を広く市民に利用していただくために、資料の活用・公開および教育普及事業を行なっている。

②企画展示

第3展示室では、考古学講座のテーマに合わせた展示や、保存処理成果や発掘調査成果の速報展示などを行なっている。

(1) 展示

①常設展示

「埋蔵文化財の保存・活用」と「弥生時代以来の海外交易の拠点」をテーマとした常設展示を公開している。

第1展示室では、埋蔵文化財の説明および発掘調査、記録作成、木器・金属器等の理化学的な分析と保存処理、資料の収蔵と活用、考古学の研究法などを、出土品や記録類の展示とともに解説している。

第2展示室では、「奴国の時代」、「中世都市博多」と題して、日本の玄関口という本市の特徴を明瞭に示す弥生時代と中世の資料について展示・解説している。（各展示室の展示項目については、『福岡市埋蔵文化財センター年報』第38号を参照。）



前期展 展示状況

- 「海と山がおりなす歴史・前期」展
令和4年5月17日(火)～令和4年10月9日(日)
- 「海と山がおりなす歴史・後期」展
令和4年10月15日(土)～令和5年2月19日(日)
- 「新発見速報展—発掘されたふくおか2023—」
令和5年3月1日(水)～令和5年5月7日(日)

③プチ展示

平成28年度より、エントランスホールに展示ケースを設置し、学芸員おすすめの逸品を展示している。

- No.61「ミニチュア碇石」(博多遺跡群出土のミニチュア碇石)

令和4年6月11日(土)～令和5年9月2日(金)

- No.62「赤色顔料付着の陶磁器小碗」(博多遺跡群・福岡城跡出土の赤色顔料付着の陶磁器小碗)

令和4年9月3日(土)～令和4年12月2日(金)

- No.63「紡績具」(元岡・桑原遺跡群出土の紡績具)

令和4年12月3日(土)～令和5年5月24日(水)



No.61「ミニチュア碇石」展示品

④館外展示

- 常設の館外展示

市民が身近に出土品を見学できることを目的に、小学校や公民館等の公共施設や、発掘調査を実施した民間施設等において、資料の展示を行なっている。

[設置場所]

博多駅地下連絡通路・玄洋展示室・板付北小学校・野多目小学校・賀茂小学校・城原小学校・西戸崎小学校・馬出小学校・城南小学校・今津公民館・

四箇田公民館・老司公民館・金武公民館・西都公民館・柏原公民館・和白図書館・戸切人權のまちづくり館等・教育センター・文化センター高取

- 短期の館外展示

主催者の申し込みを受けて、校区の文化祭や市内で開催される各種イベント等に臨時でブースを設け、校区やイベントのテーマに関する出土品を展示している。

令和4年度は、桑原公民館の文化祭で元岡・桑原遺跡群の須恵器等を展示した。

(2) 収蔵資料の利用

①収蔵資料の貸出

収蔵している出土品や発掘調査の記録類について、小中学校や公民館、国内外の博物館や研究機関、出版社等のメディア等に対し、貸出しを行っている。収蔵資料の貸出しは、福岡市埋蔵文化財センター条例第5条第1項に定めるとおり、許可手続きを経て行っている。

令和4年度貸出数

内容	件数	点数		
		考古資料(出土品)	記録類ほか(写真・備品等)	合計
短期貸出	121	797	1,484	2,281
長期貸出(借用期間1年以上)	48	2,573	42	2,615

令和3年度貸出数(訂正)

内容	件数	点数		
		考古資料(出土品)	記録類ほか(写真・備品等)	合計
短期貸出	112	655	729	1,384
長期貸出(借用期間1年以上)	49	2,744	28	2,772
閲覧	90	6,071	3,867	9,938

※『福岡市埋蔵文化財センター年報』第41号(2023年発行)7頁記載の表を訂正する。

②収蔵資料の閲覧

収蔵している出土品や発掘調査、整理報告の記録類について、市民や考古学を学ぶ学生、研究者等の要望に応じて、閲覧に供している。また、メディア等の撮影の依頼にも応じている。

令和4年度閲覧数

内容	件数	点数
考古資料(出土品)	115	9,508
記録類ほか(写真等)	5	2,011
合計	120	11,519

令和3年度閲覧数（訂正）

内容	件数	点数
考古資料（出土品）	93	10,137
記録類ほか（写真等）	3	141
合計	96	10,278

※『福岡市埋蔵文化財センター年報』第41号（2023年発行）7頁記載の表を訂正する。



資料閲覧風景

③関連図書の収蔵と閲覧

遺跡や考古学関係の図書の受け入れを行ない、図書室で一般に公開している。令和4年度の受け入れ図書は下記の通りで、蔵書数は合計109,369冊となった。

令和4年度受け入れ図書（冊）

内容	一般	雑誌	合計
購入	0	104	104
受贈	1,673	20	1,693
合計	1,673	124	1,797

（3）公開講座

①考古学講座

福岡市内の遺跡や出土品に関係する年間テーマを決め、研究の最前線で活躍する研究者を講師に迎え、市民とともにより深く考古学を学ぶことを目的に実施している。

令和4年度のテーマは「海と山がおりなす歴史」で、計5回を開催し、250人が受講した（各回定員50人）。講師の協力により、ホームページへの講座配布資料の掲載を行った。

②速報講座

発掘調査や保存処理成果の速報講座を実施している。

令和4年度は、速報講座「発掘調査総まくり」（福岡市埋蔵文化財課・田上勇一郎氏）を開催し、80人が受講した（定員80人）。

令和4年度考古学講座一覧

	開催日	種類	演題	講師	受講者数
1	5月21日(土)	第1回	「縄文時代の海と山」	古澤 義久氏 (福岡大学人文学部)	50
2	7月9日(土)	第2回	「海辺と山裾の弥生時代史」	齋藤 瑞穂氏 (神戸女子大学文学部)	50
3	9月3日(土)	第3回	「古墳時代の海と山を考える」	北條 芳隆氏 (東海大学文学部)	50
4	11月19日(土)	第4回	「奈良時代の海と山、マネジメントのはじまり」	赤司 善彦氏 (大野城心のふるさと館)	50
5	1月14日(土)	第5回	「中世博多のチャイナタウンと航海目標となった山々」	桃崎 祐輔氏 (福岡大学人文学部)	50
6	3月18日(土)	速報	「発掘調査総まくり」	福岡市文化財活用部職員	80
				合計	330



考古学講座実施状況（第4回講座）

（4）体験型イベント

収蔵庫暗闇ツアー

薄暗い収蔵庫を探検して、歴史クイズに挑戦するという子ども向けの体験型歴史学習イベントで、平成29年度から実施している。令和4年度は秋のイベントとして開催した。

[実施日] 10月15日（土）

（5）施設の利用

①団体見学ほか

申し込みに応じて、学芸員が展示室、収蔵庫、保存処理設備などのバックヤード案内や展示解説を行っている。

②講座室・会議室の利用

申し込みに応じて、考古学関係の研究会等の会場として一般に提供している。



「収蔵庫暗闇ツアー」実施状況

団体見学者数

団体見学	団体数	人数
学生	5	13
一般	37	912
合計	42	925

講座室・会議室利用

内容	件数	利用者数
研究会	5	109
会議（オンライン）	10	37
大学講義	0	0
合計	15	146

（6）出前授業・出前歴史講座

地域の遺跡や出土品を身近に感じてもらい、歴史に対する興味・関心を持ってもらうことを目的に実施している。前年度に市立小学校・特別支援学校・公民館に募集をかけ、年間スケジュールを組んだ上で、教育普及専門職員を講師として派遣している。

①出前授業（小学校）

平成17年度から実施している。令和4年度は2つのプログラムを用意し、39校、3,072人の児童が受講した。新型コロナウイルス感染拡大防

止のため、3校が中止となった。

②出前歴史講座（公民館等）

平成24年度から実施している。令和4年度は成人用と児童用の3つのプログラムを用意し、23館、445人の市民・児童が受講した。



出前授業（小学校）実施状況



出前授業（公民館）実施状況

（7）実習・体験

①博物館学芸員実習

市内外の大学からの申し込みに応じて、学芸員養成教育における博物館実習（館園実習）を

出前授業プログラム一覧

授業名 (時間)	授業概要	校数 (授業数)	人数
めざせ！考古学者～今日から君も郷土の歴史博士～ (60分)	校区の歴史や遺跡について、より詳しく学ぶ。学校の敷地や校区内、校区周辺で発掘された土器や石器を観察し、スケッチをする。観察したことをまとめ、発掘品が作られた時代やその使い方について考える。	9 (24)	677
古代技術に挑戦！～毎日がサバイバル！古代の技術を学ぼう～ (60分)	黒曜石ナイフや火起こし、鏡作りなど、古代の技術をもとに歴史を学ぶ。黒曜石ナイフと火起こし（弓きり式・舞いきり式・火打石）は実際に体験する。鏡作りは、講師がビスマス合金（低温度溶解金属）と鋳型を使って実演する。	30 (83)	2,395
		合計	3,072 (107)

出前歴史講座プログラム一覧

講座名（時間）	施設数	人数
[成人向け] 郷土の歴史 (60分)	9	146
[児童向け] めざせ！考古学者 (90分)	1	12
[児童向け] 古代技術に挑戦！ (90分)	13	287
合計	23	445

実施している。

[実習生] 3人（西南学院大学、筑紫女学園大学）

[実習期間] 令和4年8月16日（火）～8月24日（水）の日・月曜を除く7日間

[実習内容] 文化財行政と埋蔵文化財センターの役割、施設見学、資料の収蔵・整理、教育普及・公開活用、保存処理、情報発信など



博物館学芸員実習実施状況

②中学生職場体験

中学生に将来の職業や進路に対する関心や理解を深めてもらうために、福岡市教育委員会からの依頼および市内中学校からの申し込みに応じて実施している。令和4年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、申し込みがなかった。

(8) 刊行物

○『福岡市埋蔵文化財センター年報』第41号（令和3（2021）年度、A4判20頁、令和5年2月10日発行）

(9) ホームページ改修

インターネットおよびデジタルコンテンツによる埋蔵文化財の公開活用事業が、コロナ禍を経て、ますます必要となっている。埋蔵文化財に係る教育普及活動の情報をインターネット上で広く公開し、説明するために、令和4年度から2か年にわたってホームページを大幅に改修する。

令和4年度は高齢者等でも見やすいデザイン設計やCMS（コンテンツ・マネジメント・システム）導入を中心に、マルチデバイス（スマホ・タブレット）対応、アクセシビリティ課題への対応（適合レベルAA準拠）、情報セキュリティ対応（脆弱性チェック、通信暗号化など）などの改修を行った。



新ホームページトップ画面

ホームページ URL

<https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/maibun/>

6. 保存処理

(1) はじめに

当センターでは昭和57年の開館以来、市内出土埋蔵文化財のうち腐蝕や劣化により資料としての取り扱いや、通常の保管が困難なもの（主に対象となるのは木製品と金属製品）について、保存のための科学的処置を講じている。当初は直接的な処置のための限られた機器で作業を行ってきたが、平成11年度の増築により事前調査機器や大型の処理装置などが導入され、幅広い資料に対応が可能となっている。増築前後の施設の内容については、年報の第15号（増築前）、18号（増築後）をそれぞれ参照されたい。

(2) 有機物（出土木製品）

①保存処理の概要

令和4年度処理を行ったのは8遺跡151点で、その内容は一覧表の通りである。この内、元岡・桑原20次1点、57次17点、麦野A23次1点、雀居18次70点、五十川20次1点の計90点は国庫補助事業によるものである。

処理方法は資料の大きさ、構造、樹種、劣化状態などの諸条件を基に、主に次の3つの方法から選択している。一つは、開館以来中心的に用いている、合成樹脂PEG-4000を用いた「PEG含浸法」、もう一つは人工糖類トレハロースを用いた「トレハロース含浸法」、三つ目は大型の凍結乾燥機を用いた「真空凍結乾燥法」である。

これらの方法にはそれぞれ一長一短あるが、現状ではPEG含浸法を中心に行い、他の方法についてはPEG含浸法で処理が困難とされる墨書を有する資料、漆器、広葉樹芯持ち材、大型の木製品などに対しての適用を想定している。

②保存処理の工程

各処理法による作業は、資料の洗浄、処理前写真の撮影、処理カードの作成といった共通作業の後、次のような工程で行っている。

●PEG含浸法

1 資料の梱包

不織布で梱包し、メッシュ入りコンテナ等に納める。

2 PEG含浸

専用の含浸装置に資料を入れ、注水、60℃に加熱する。温度が安定したら初期濃度20%より置換開始。濃度は1週間に一度溶液を採取して、溶液の重量と水分蒸発後の重量比較により算出する。約9ヶ月で100%まで濃度を上げる。

3 遺物の取り上げ～洗浄、乾燥（PEGの固化）

溶液から取り出し後、温水で表面を洗浄し、自然乾燥。

4 処理後の点検作業

変形、破損の有無を点検し、処理カードに記入。

5 脱色及び表面処理

湯煎したアルコールによる表面洗浄。

6 修復

エポキシ系接着剤による折損部の接合、エポキシ樹脂にマイクロバルーンを混入した材料による欠損の復元。

●トレハロース含浸法

1 溶液の準備

ステンレス製の深型バットにトレハロースを水で溶解。初期濃度は20～30%程度。恒温乾燥機中に先述のバットを設置、資料を溶液に入れ、蓋をして溶液を加熱する。

2 トレハロースの含浸置換

徐々に恒温乾燥機の温度を上げ、高濃度の溶液に資料を入れ替える。70℃での溶液の限界濃度（70%程度）まで濃度を上昇させる。これら一連の含浸期間は資料の形状や材質によるが、概ね4～8週間程度である。

3 結晶化

資料を溶液から取り出し、送風機によって常温の風を当てることで、糖の結晶化を図る。

4 洗浄

表面に固着しているトレハロースの結晶を、スチーム洗浄機を用いて洗浄。

●真空凍結乾燥法

1 PEG の含浸置換

注水した PEG 含浸装置中に資料を入れ、60℃に加熱。約6ヶ月かけて50%に濃度を上げる。

2 遺物の取り上げ～洗浄

溶液から取り出し後、温水で表面洗浄。

3 凍結乾燥処理

資料を真空凍結乾燥機に入れ、装置を作動。1ヶ月程度-40℃～-60℃で予備凍結させる。その後チャンバーを真空にして、水分の昇華を図る。

なお、令和4年度は、真空凍結乾燥法による木製品の処理は行っていない。

なお、保存処理の完了した資料は、全て埋蔵文化財センターの特別収蔵庫に保管している。

③保存処理資料の紹介

PEG 含浸処理資料

●元岡・桑原遺跡群第57次調査出土木製品（写真1～3）

元岡・桑原遺跡群は九州大学伊都キャンパス造成に伴う埋蔵文化財調査によって発見された。第57次調査は遺跡全体の南側で、南方向に開口する谷部に位置しており、庚寅銘大刀が出土した元岡G-6号墳から約2km東側である。谷部の包含層からは古墳時代中期から中世にかけての土器が出土し、谷部や斜面からは製鉄炉・鍛冶炉などの遺構が確認されている。

写真1は杵である。全長36.4cm、幅15.0cmを測る。一方の搗き部のみであるが報告書掲載の287と同一個体の可能性も指摘されている。写真2は火鑽臼である。全長13.0cm、幅3.0cm、厚さ1.9cmと小ぶりである。中央に3カ所火鑽穴が確認でき、もう1カ所臼を設けようとした痕跡が確認できる。臼の径は0.8～1.0cmを測る。写真3は、杓子形祭祀具で、長さ19.7cm、幅7.0cmを測る。

●雀居遺跡第18次調査出土木製品（写真4～8）

博多区大字雀居に所在する。福岡空港の滑走路増設に際して調査が行われた。周囲を7・9・10・13・16次等の調査が行われており、雀居遺跡18次調査では多数の木器が出土している。

写真4はスギ製の付札木簡である。長さ10.9cmを測る。荷と緊縛した痕跡が切り込みによって確認できる。写真5はスギ製の把手付方形槽で長さ51.5cm、幅12.5～14.5cm、深さ5.5cmを測る。方形で短辺側に方形の把手がつく。写真6はクスノキ製の木錘で、長さ14.5cm、幅10.2cmを測る。藁製品などを編む際に使用され、輪切りにした芯持ち材の側面中央に細い溝がめぐる。写真7はスギ製の棒状刺突具で、長さは47.7cmである。1本の杉の木から作られており、先端には鋭い突起が削り出されている。写真8の樹種はコナラ属で、長さ27.2cmを測る。身に柄孔を明け、棒を差し込む直柄鋏で、柄孔の周りは1段隆起している。

【参考文献】

板倉有大 2020『雀居14』福岡市教育委員会

大塚紀宜 2018『元岡・桑原遺跡群31』福岡市教育委員会



PEG 含浸法作業風景（漬け込み準備）



PEG 含浸法作業風景（取り上げ洗浄）

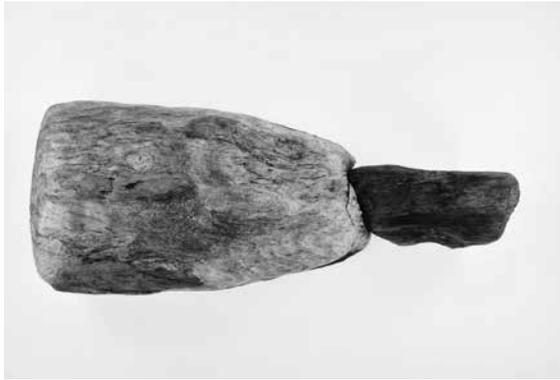


写真1 元岡・桑原遺跡群 57次出土杵



写真2 元岡・桑原遺跡群 57次出土火鑽臼



写真3 元岡・桑原遺跡群 57次出土杓子形祭祀具



写真4 雀居遺跡 18次出土付札木筒



写真5 雀居遺跡 18次出土把手付方形槽



写真6 雀居遺跡 18次出土木錘



写真7 雀居遺跡 18次出土棒状刺突具

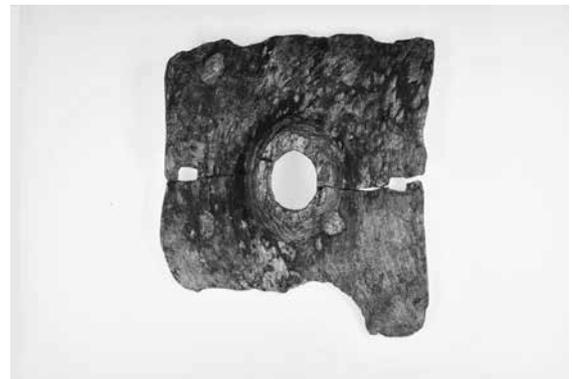


写真8 雀居遺跡 18次出土鋤

令和4(2022)年度保存処理木製品一覽

処理No.	遺物No.	資料名	時代	市報	報告書 Fig	処理方法
五十川 20 次 (調査番号: 1609)						
37546	00003	下駄	近世	1330	Fig8-3	PEG 含浸(3 m槽)
妻野 A23 次 (調査番号: 1441)						
37547	00040	曲物(底板)	中世	1323	Fig11-40	PEG 含浸(3 m槽)
元岡・桑原 20 次 (調査番号: 0001)						
37548	20400	不明部材	古墳時代	1328	Fig23-264	PEG 含浸(3 m槽)
元岡・桑原 57 次 (調査番号: 1103)						
37549	05002	杵	古墳時代~古代	1356	Fig67-284	PEG 含浸(3 m槽)
37550	05015	不明板状	古墳時代~古代	1356	Fig70-310	PEG 含浸(3 m槽)
37551	05023	斧柄	古墳時代~古代	1356	Fig65-261	PEG 含浸(3 m槽)
37552	05030	杵	古墳時代~古代	1356	Fig67-286	PEG 含浸(3 m槽)
37553	05031	杵の未成品?	古墳時代~古代	1356	Fig68-287	PEG 含浸(3 m槽)
37554	05032	杵の未成品?	古墳時代~古代	1356	Fig68-288	PEG 含浸(3 m槽)
37555	05033	ヤス	古墳時代~古代	1356	Fig69-297	PEG 含浸(3 m槽)
37556	05038	杵	古墳時代~古代	1356	Fig67-285	PEG 含浸(3 m槽)
37557	05050	不明木器	古墳時代~古代	1356	Fig65-255	PEG 含浸(3 m槽)
37558	05052	蓋か底	古墳時代~古代	1356	Fig67-278	PEG 含浸(3 m槽)
37559	05055	鋤?	古墳時代~古代	1356	Fig70-306	PEG 含浸(3 m槽)
37560	05056	柄先端?	古墳時代~古代	1356	Fig70-305	PEG 含浸(3 m槽)
37561	05073	不明木器	古墳時代~古代	1356	Fig70-310	PEG 含浸(3 m槽)
37562	05074	火鑊白	古墳時代~古代	1356	Fig70-307	PEG 含浸(3 m槽)
37563	05075	火鑊白	古墳時代~古代	1356	Fig70-304	PEG 含浸(3 m槽)
37564	05076	杓文字	古墳時代~古代	1356	Fig65-257	PEG 含浸(3 m槽)
37565	05080	蓋か底	古墳時代~古代	1356	Fig67-279	PEG 含浸(3 m槽)
雀居 18 次 (調査番号: 1605)						
37566	20002	曲物底板	古代~中世	1388	Fig13-32	PEG 含浸(3 m槽)
37567	20004	板状部材	弥生時代~古代	1388	Fig13-34	PEG 含浸(3 m槽)
37568	20007	曲底板物	古代	1388	Fig18-59	PEG 含浸(3 m槽)
37569	20008	棒材	古代	1388	Fig18-60	PEG 含浸(3 m槽)
37570	20009	鋤	古墳時代	1388	Fig19-61	PEG 含浸(3 m槽)
37571	20016	棒状部品	古代	1388	Fig21-80	PEG 含浸(3 m槽)
37572	20017	荷札木簡	古代	1388	Fig21-81	PEG 含浸(3 m槽)
37573	20020	隅物	古代	1388	Fig21-84	PEG 含浸(3 m槽)
37574	20021	鋤先	古代	1388	Fig21-85	PEG 含浸(3 m槽)
37575	20023	板状製品	古墳時代	1388	Fig30-127	PEG 含浸(3 m槽)
37576	20024	板状製品	古墳時代	1388	Fig30-128	PEG 含浸(3 m槽)
37577	20025	角材(礎板)	古墳時代	1388	Fig30-129	PEG 含浸(3 m槽)
37578	20026	柱	弥生時代~古墳時代	1388	Fig30-130	PEG 含浸(3 m槽)
37579	20027	柱	弥生時代~古墳時代	1388	Fig30-131	PEG 含浸(3 m槽)
37580	20028	柱	古墳時代	1388	Fig30-132	PEG 含浸(3 m槽)
37581	20032	礎板	古墳時代	1388	Fig31-136	PEG 含浸(3 m槽)
37582	20048	広鋸	古墳時代	1388	Fig83-466	PEG 含浸(3 m槽)
37583	20049	板状製品	古墳時代	1388	Fig83-467	PEG 含浸(3 m槽)
37584	20051	把手付方形容器	古墳時代	1388	Fig84-469	PEG 含浸(3 m槽)
37585	20052	脚付方形容器	古墳時代	1388	Fig84-470	PEG 含浸(3 m槽)
37586	20053	板状	古墳時代	1388	Fig84-471	PEG 含浸(3 m槽)
37587	20054	履物	古墳時代	1388	Fig84-472	PEG 含浸(3 m槽)
37588	20055	丸木状部品	古墳時代	1388	Fig84-473	PEG 含浸(3 m槽)
37589	20057	鋸柄?	古墳時代	1388	Fig85-475	PEG 含浸(3 m槽)
37590	20059	鋸	古墳時代	1388	Fig85-477	PEG 含浸(3 m槽)
37591	20060	茄子形又鋸	古墳時代	1388	Fig85-478	PEG 含浸(3 m槽)
37592	20065	横槌	古墳時代	1388	Fig86-483	PEG 含浸(3 m槽)
37593	20066	横杵	古墳時代	1388	Fig86-484	PEG 含浸(3 m槽)
37594	20067	斧柄	古墳時代	1388	Fig86-485	PEG 含浸(3 m槽)
37595	20070	堀串	古墳時代	1388	Fig86-488	PEG 含浸(3 m槽)
37596	20073	板状製品	古墳時代	1388	Fig86-491	PEG 含浸(3 m槽)
37597	20075	棒状部材	古墳時代	1388	Fig87-493	PEG 含浸(3 m槽)
37598	20081	杵	弥生時代	1388	Fig90-499	PEG 含浸(3 m槽)
37599	20082	木錘	弥生時代	1388	Fig90-500	PEG 含浸(3 m槽)
37600	20083	杵	弥生時代	1388	Fig90-501	PEG 含浸(3 m槽)
37601	20084	鋸柄	弥生時代	1388	Fig90-502	PEG 含浸(3 m槽)
37602	20085	鋸	弥生時代	1388	Fig90-503	PEG 含浸(3 m槽)
37603	20086	杓文字	弥生時代	1388	Fig90-504	PEG 含浸(3 m槽)
37604	20087	組立式 案の脚	弥生時代	1388	Fig90-505	PEG 含浸(3 m槽)
37605	20088	板状部品	弥生時代	1388	Fig90-506	PEG 含浸(3 m槽)
37606	20090	不明部材	弥生時代	1388	Fig91-508	PEG 含浸(3 m槽)
37607	20093	容器片(盤)	弥生時代	1388	Fig91-511	PEG 含浸(3 m槽)
37608	20095	不明部材	弥生時代	1388	Fig92-513	PEG 含浸(3 m槽)
37609	20096	鋸の柄	弥生時代	1388	Fig92-514	PEG 含浸(3 m槽)
37610	20097	鋸の柄	弥生時代	1388	Fig92-515	PEG 含浸(3 m槽)
37611	20098	不明棒状	弥生時代	1388	Fig92-516	PEG 含浸(3 m槽)
37612	20099	建築部材	弥生時代	1388	Fig92-517	PEG 含浸(3 m槽)
37613	20100	不明部材	弥生時代	1388	Fig92-518	PEG 含浸(3 m槽)
37614	20101	鋸の留具	弥生時代	1388	Fig93-519	PEG 含浸(3 m槽)
37615	20105	鋸の柄?	弥生時代	1388	Fig93-523	PEG 含浸(3 m槽)
37616	20106	農具の柄	弥生時代	1388	Fig93-524	PEG 含浸(3 m槽)
37617	20107	不明部材	弥生時代	1388	Fig93-525	PEG 含浸(3 m槽)
37618	20108	把手付方形容器	弥生時代	1388	Fig96-534	PEG 含浸(3 m槽)
37619	20110	鋸	弥生時代	1388	Fig93-536	PEG 含浸(3 m槽)

処理No.	遺物No.	資料名	時代	市報	報告書 Fig	処理方法
37620	20111	斧柄	弥生時代	1388	Fig96-537	PEG 含浸(3 m槽)
37621	20112	鋸	弥生時代	1388	Fig123-758	PEG 含浸(3 m槽)
37622	20113	エブリ	弥生時代	1388	Fig123-759	PEG 含浸(3 m槽)
37623	20115	不明部材	弥生時代	1388	Fig123-761	PEG 含浸(3 m槽)
37624	20116	板状製品	弥生時代	1388	Fig123-762	PEG 含浸(3 m槽)
37625	20118	不明部材	弥生時代~古墳時代	1388	Fig140-884	PEG 含浸(3 m槽)
37626	20120	不明部材	弥生時代~古墳時代	1388	Fig140-886	PEG 含浸(3 m槽)
37627	20121	不明部材	弥生時代~古墳時代	1388	Fig140-887	PEG 含浸(3 m槽)
37628	20122	鋸	弥生時代~古墳時代	1388	Fig141-888	PEG 含浸(3 m槽)
37629	20124	鋸	弥生時代~古墳時代	1388	Fig141-890	PEG 含浸(3 m槽)
37630	20126	弓	弥生時代~古墳時代	1388	Fig141-892	PEG 含浸(3 m槽)
37631	20127	不明部材	弥生時代~古墳時代	1388	Fig141-893	PEG 含浸(3 m槽)
37632	20130	鋸	弥生時代~古墳時代	1388	Fig141-896	PEG 含浸(3 m槽)
37633	20132	矛形	弥生時代	1388	Fig149-943	PEG 含浸(3 m槽)
37634	20134	掛矢	弥生時代	1388	Fig149-945	PEG 含浸(3 m槽)
37635	20135	鋸	弥生時代	1388	Fig149-946	PEG 含浸(3 m槽)
37642	20001	分割材	古代	1388	Fig13-31	PEG 含浸(3 m槽)
37643	20003	杭	古代	1388	Fig13-33	PEG 含浸(3 m槽)
37644	20005	柱状・栓か	古代	1388	Fig18-57	PEG 含浸(3 m槽)
37645	20006	鋸柄把手	古墳時代	1388	Fig18-58	PEG 含浸(3 m槽)
37646	20010	芯持丸木	古代	1388	Fig19-62	PEG 含浸(3 m槽)
37647	20012	小枝束	古代	1388	Fig19-64	PEG 含浸(3 m槽)
37648	20013	杭	古代	1388	Fig19-65	PEG 含浸(3 m槽)
37649	20014	棒状製品	古代	1388	Fig19-66	PEG 含浸(3 m槽)
37650	20015	曲物底板	古代	1388	Fig19-67	PEG 含浸(3 m槽)
37651	20019	隅物	古代	1388	Fig19-83	PEG 含浸(3 m槽)
37652	20029	柱	古墳時代	1388	Fig31-133	PEG 含浸(3 m槽)
37653	20030	杭(棒状)	古墳時代	1388	Fig31-134	PEG 含浸(3 m槽)
37654	20031	角材(礎板)	古墳時代	1388	Fig31-135	PEG 含浸(3 m槽)
37655	20033	棒材	古墳時代	1388	Fig31-137	PEG 含浸(3 m槽)
37656	20035	棒状部品	弥生時代	1388	Fig32-139	PEG 含浸(3 m槽)
37657	20036	鋸楔	古墳時代	1388	Fig32-140	PEG 含浸(3 m槽)
37658	20038	棒状	古墳時代	1388	Fig33-142	PEG 含浸(3 m槽)
37659	20039	角材(礎板)	古墳時代	1388	Fig33-143	PEG 含浸(3 m槽)
37660	20040	角材(礎板)	古墳時代	1388	Fig33-144	PEG 含浸(3 m槽)
37661	20041	棒材	古墳時代	1388	Fig33-145	PEG 含浸(3 m槽)
37662	20042	柱	古墳時代	1388	Fig33-146	PEG 含浸(3 m槽)
37663	20043	杭	古墳時代	1388	Fig33-147	PEG 含浸(3 m槽)
37664	20044	杭(小型棒状)	古墳時代	1388	Fig40-184	PEG 含浸(3 m槽)
37665	20045	鋸	古墳時代	1388	Fig40-185	PEG 含浸(3 m槽)
37666	20046	板材	古代	1388	Fig40-186	PEG 含浸(3 m槽)
37667	20047	杭(板状部品)	古代	1388	Fig40-187	PEG 含浸(3 m槽)
37668	20058	棒状製品	古墳時代	1388	Fig85-476	PEG 含浸(3 m槽)
37669	20059	不明板状	古墳時代	1388	Fig85-477	PEG 含浸(3 m槽)
37670	20061	エブリ	古墳時代	1388	Fig85-479	PEG 含浸(3 m槽)
37671	20062	鋸柄	古墳時代	1388	Fig85-480	PEG 含浸(3 m槽)
37672	20063	鋸(楔)	古墳時代	1388	Fig85-481	PEG 含浸(3 m槽)
37673	20064	エブリ	古墳時代	1388	Fig85-482	PEG 含浸(3 m槽)
37674	20069	掘串	古墳時代	1388	Fig86-487	PEG 含浸(3 m槽)
37675	20071	堀串か	古墳時代	1388	Fig86-489	PEG 含浸(3 m槽)
37676	20072	鋸柄	古墳時代	1388	Fig86-490	PEG 含浸(3 m槽)
37677	20074	棒状部材	古墳時代	1388	Fig87-492	PEG 含浸(3 m槽)
37678	20076	柱状部材	古墳時代	1388	Fig87-494	PEG 含浸(3 m槽)
37679	20077	棒状製品	古墳時代	1388	Fig87-495	PEG 含浸(3 m槽)
37680	20078	杭	古墳時代	1388	Fig87-496	PEG 含浸(3 m槽)
37681	20079	扉	古墳時代	1388	Fig88-497	PEG 含浸(3 m槽)
37682	20091	棒材	古墳時代	1388	Fig91-509	PEG 含浸(3 m槽)
37683	20092	建築部材	古墳時代	1388	Fig91-510	PEG 含浸(3 m槽)
37684	20103	横槌	古墳時代	1388	Fig93-521	PEG 含浸(3 m槽)
37685	20109	板状部品	古墳時代	1388	Fig96-535	PEG 含浸(3 m槽)
37686	20114	泥除	弥生時代	1388	Fig123-760	PEG 含浸(3 m槽)
37687	20117	板状部材	弥生時代	1388	Fig140-883	PEG 含浸(3 m槽)
37688	20118	建築部材	弥生時代	1388	Fig140-884	PEG 含浸(3 m槽)
37689	20123	三又鋸	弥生時代	1388	Fig141-889	PEG 含浸(3 m槽)
37690	20125	ナスビ形又鋸	弥生時代	1388	Fig141-891	PEG 含浸(3 m槽)
37691	20128	柱材	弥生時代	1388	Fig142-894	PEG 含浸(3 m槽)
37692	20129	一本鋸	弥生時代	1388	Fig142-895	PEG 含浸(3 m槽)
37693	20131	鋸(楔)	弥生時代	1388	Fig142-897	

(3) 金属製品

1) 保存処理の概要と工程

令和4年度に木製品以外で何らかの処理を行った資料は、8遺跡計359点である。

内訳は鉄製品179点、銅・青銅製品178点、その他金製品属2点である。

①事前調査

出土した金属製品のほとんどは土、錆に覆われている。肉眼だと遺物表面の状態を観察することはできるが、内部構造まで見極めることは難しい。そのため、透過X線撮影装置や蛍光X線分析装置などの分析機器を用いて、遺物の形状・錆の進行状況・材質などを把握している。

②クリーニング

事前調査で得られた結果をもとに、遺物の形状をよりわかりやすくするために、不必要な土や錆を手作業で除去する。

鉄製品は硬く分厚い錆に覆われているため、グラインダーやエアブラシなどを使用し錆層を削っていく。銅・青銅製品は表面の錆層が薄く、遺物本来の形状が保たれているものが多い。そのため表面に付着した土をアルコールで軟らかくし、筆やメスなどで慎重に取り除くにとどめる。

③安定化処置

鉄・青銅製品中には塩化物イオンなどの塩類が含まれており、腐食を促進させる大きな要因となっている。これらを除去し腐食の進行を抑制することを目的とする。鉄製品の場合、メタルが残存している資料にはセスキ炭酸ナトリウムの水溶液に浸漬し、塩類を溶出させる方法をとっている。青銅製品に対しては、アルコールとベンゾトリアゾール(BTA)の混合液に含浸させることで、塩類の不活性化と資料の安定化をはかっている。

④樹脂含浸

金属製品の多くは、内部に亀裂や空隙ができており、物理的に脆弱な状態である。そのため、遺物にアクリル樹脂を含浸させることで強化と保護膜の形成を施す。以前は鉄製品にはパラロイドNAD-10、青銅製品にはパラロイドB-72と

使い分けていたが、諸事情により現在はパラロイドB-72のみを使用している。

⑤修復

破片を接合し、本来の形状に戻す。使用する接着剤は、強度を要するものはエポキシ系樹脂、特に要さないものに対しては可塑性のあるセルロース系樹脂と使い分けている。

以上が処理の大まかな流れであるが、保存処理を行ったとしても、それはあくまで延命治療であり、環境の変化によって再び腐食が進行するおそれがある。

そのため、当センターでは金属製品は温湿度が管理され安定した環境下にある特別収蔵庫内にて保管している。また、資料によっては、酸素を透過しない特殊なフィルム袋に資料と脱酸素剤を入れてパックする方法(三菱ガス化学:RPシステム)により保管する。

2) 保存処理資料の紹介

令和4年度に処理を行った資料の中から、次の6点について紹介する。

●博多遺跡群第213次調査出土金属製品

(写真1～8)

当遺跡からは多種多様な遺物が、数多く出土している。処理を行った資料の中には鉄鏃、小札、包丁、権、火打金などの鉄製品や銅銭などが含まれる。

写真1は長さ約16cmの柳葉形鉄族である。土と硬い錆に覆われていたが、X線撮影により、鏃身部に透かし孔が入っていることが判明した(写真2)。孔には棘葉状または杏仁状の意匠が施されている。古墳時代前期か。

写真3、4は長さ約14cmのT字形を呈した鉄族である。これら2点の鉄鏃は特殊な形状をしており、実戦用ではなく儀仗用として製作された可能性も考えられる。中世～近世か。

写真5は長さ約8cmの小札である。表面が土と錆で覆われており、肉眼では視認できなかったが、X線で観察したところ縦二列に孔が開けられているのが確認された(写真6)。

孔の大きさに若干の違いがあるように見えるが、腐食が進行しているためか明瞭に映らず判別できなかった。また、処理を行った資料の中には、この小札と同形状のものが数枚含まれている。

写真7、8は長さ約10cmの火打金である。山形の頂点付近には丸孔が開けられており、左右対称の透かしが入っている。下辺の両端には上方への返しがある。表面に亀裂があるものの、遺存状態は良好でメタル部分が残っていた。時間の都合上クリーニングのみで、今後安定化処置を行う予定である。

銅銭は約120点弱の処理を行っているが、元豊通寶や政和通寶など北宋のものが最も多く、次いで寛永通寶が見受けられる。

●箱崎遺跡第113次調査出土金属製品

(図1、写真9～13)

直径約12cmの六花鏡である。処理前は全体が砂利で覆われており、クリーニングで除去したところ、鏡面に銀色光沢が残っていることがわかった。砂利で覆われていたことにより酸素から遮断され、良好な状態が保たれていたものと考えられる。X線撮影で文様や銘文の有無を確認したが見られず、素文である(写真10)。また、銀色光沢部分の材質を特定するために蛍光X線分析を行った結果、銅・錫・鉛が検出され青銅合金であることがわかった(図1)。

背面には茶色の塊が付着していたが、これをクリーニング時に切り取りX線で確認したところ、内部に鉄とピンセット状鉄製品があることが判明した(写真11、12)。また、茶色の塊は脆くて崩れやすく、薄皮状に剥離していた。そこで剥離片を採取しデジタルマイクロスコープを用いて拡大観察したところ、織組織が見られたため、この塊は織物であることがわかった(写真13)。鉄錆が織物に染み込んだため、腐朽せずに残ったものと考えられる。埋葬時、これらの鉄製品は織物に入れられていたのだろうか。保存処理では遺物の形を出すことを優先したため、織物は崩さざるを得なかった。

【参考文献】

- 久保智康 1999年『日本の美術 第394号 中世・近世の鏡』至文堂
 杉山秀宏 2003年「古墳時代の鉄鏃」『考古資料大観7 弥生・古墳時代 鉄・金銅製品』小学館
 田中晋作 2003年「鉄製甲冑の変遷」『考古資料大観7 弥生・古墳時代 鉄・金銅製品』小学館
 藤木聡 2004年「九州における火打石・火打金－資料集成と基礎的な整理－」『古文化談叢 第51集』九州古文化研究会

(4) 分析機器について

当センターでは各種の分析機器を導入し、保存処理にかかる事前調査や自然科学的分析・研究を実施している。

分析機器一覧

分析装置	機種
透過X線分析装置	エクスロン社製 MG226/2.25
蛍光X線分析装置	日立ハイテクサイエンス社製 EA-6000VX
蛍光X線回折装置	BRUKER社製 D8Discover
走査電子顕微鏡	日本FEI社製 Quanta250FEG
デジタルマイクロスコープ	HiROX社製 KH-8700
赤外線カメラ	Orca Flush4.0、 Lumina Vision



金属器保存処理作業風景(錆除去)



写真1 柳葉形鉄鏃



写真2 同上 X線写真

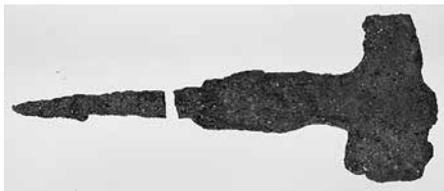


写真3 T字形鉄鏃



写真4 同上 X線写真



写真5
小札

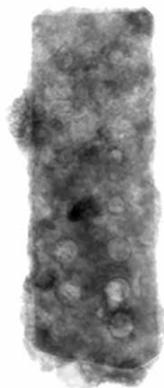


写真6
同左 X線写真



写真7 火打金



写真8 同上 X線写真



写真9 鏡



写真10
同左 X線写真

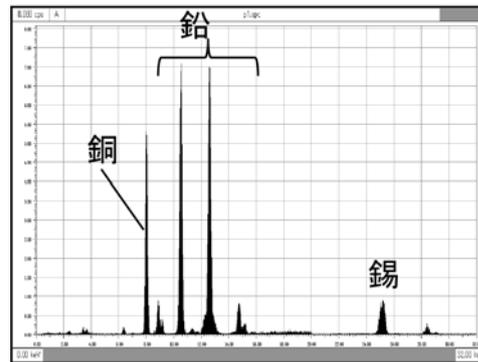


図1 同上 スペクトル図



写真11
鏡付着鉄、
ピンセット状鉄製品

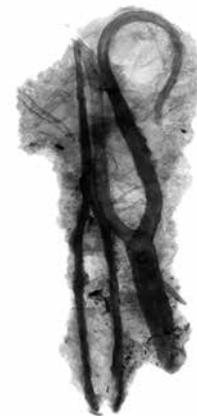


写真12
同左 X線写真



写真13
織組織 拡大写真 (20倍)

令和 4 (2022) 年度保存処理金属製品一覧

処理 No.	遺物 No.	資料名	材質	時代	報告書 Fig
博多遺跡群第 213 次 (調査番号: 1710 市報 1480 集)					
37720	整理中	鈴	鉄	中世～近世	88-11
37721	整理中	紡錘車か?	鉄	中世～近世	未図化
37722	整理中	二連環	鉄	中世～近世	88-22
37723	整理中	棒状	鉄	中世～近世	88-23
37724	整理中	包丁	鉄	中世～近世	未図化
37725	整理中	不明	鉄	中世～近世	88-10
37726	整理中	柳葉形鉄鏃 (透かし孔)	鉄	古墳時代	88-13
37727	整理中	銃具	鉄	中世～近世	88-21
37728	整理中	圭頭鉄鏃	鉄	古墳時代	88-14
37729	整理中	T 字形鉄鏃	鉄	古墳時代	88-15
37730	整理中	小札	鉄	中世～近世	88-17
37731	整理中	不明板状	鉄	中世～近世	88-4
37732	整理中	不明板状	鉄	中世～近世	88-5
37733	整理中	不明板状	鉄	中世～近世	88-6
37734	整理中	不明板状	鉄	中世～近世	88-7
37735	整理中	不明板状	鉄	中世～近世	88-8
37736	整理中	小札	鉄	中世～近世	88-18
37737	整理中	不明	鉄	中世～近世	88-16
37738	整理中	不明板状	鉄	中世～近世	88-9
37739	整理中	鐙一部か	鉄	中世～近世	88-12
37740	整理中	小札か	鉄	中世～近世	未図化
37741	整理中	小札か	鉄	中世～近世	未図化
37742	整理中	小札	鉄	中世～近世	88-19
37743	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37744	整理中	小札	鉄	中世～近世	88-20
37745	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37746	整理中	火打金か	鉄	中世～近世	88-24
37747	整理中	火打金	鉄	中世～近世	88-25
37748	整理中	火打金	鉄	中世～近世	88-27
37749	整理中	火打金	鉄	中世～近世	88-26
37750	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37751	整理中	火打金	鉄	近世	88-28
37752	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37753	整理中	銅銭 (嘉祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-121
37754	整理中	銅銭 (皇宋通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-56
37755	整理中	銅銭 (□符通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37756	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37757	整理中	銅銭 (聖宋通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37758	整理中	銅銭 (政和通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-44
37759	整理中	銅銭 (元祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37760	整理中	銅銭 (開元通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-129
37761	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37762	整理中	銅銭 (元豐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37763	整理中	銅銭 (政和通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37764	整理中	銅銭 (祥符通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37765	整理中	銅銭 (元祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-46a
37766	整理中	銅銭 (政和通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37767	整理中	銅銭 (元祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37768	整理中	銅銭 (熙寧元寶)	銅・青銅	中世～近世	89-152
37769	整理中	銅銭 (「實」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37770	整理中	銅銭 (元豐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37771	整理中	銅銭 (祥符元寶)	銅・青銅	中世～近世	89-35
37772	整理中	銅銭 (朝鮮通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-136
37773	整理中	銅銭 (開元通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37774	整理中	銅銭 (祥符元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37775	整理中	銅銭 (皇宋通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37776	整理中	銅銭 (元豐通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-58
37777	整理中	銅銭 (元豐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37778	整理中	銅銭 (祥符通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37779	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37780	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37781	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37782	整理中	銅銭 (元祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37783	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-90a
37784	整理中	銅銭 (洪武通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-65
37785	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37786	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37787	整理中	半銭	銅・青銅	近代	未図化
37788	整理中	銅銭 (元豐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37789	整理中	飾り金具か	銅・青銅	中世～近世	未図化
37790	整理中	銅銭 (政和通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37791	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-85a
37792	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37793	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37794	整理中	半銭、一銭	銅・青銅	近代	未図化
37795	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37796	整理中	銅銭 (元豐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37797	整理中	銅銭 (至道元寶)	銅・青銅	中世～近世	89-78
37798	整理中	銅銭 (「實」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37799	整理中	銅銭 (嘉祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37800	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-140
37801	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37802	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37803	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37804	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37805	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37806	整理中	銅銭 (康熙通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-87
37807	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37808	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37809	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化

37810	整理中	銅銭 (祥符通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-137
37811	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37812	整理中	銅銭 (「通寶」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37813	整理中	銅銭 (紹聖元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37814	整理中	銅銭 (「實」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37815	整理中	銅銭 (治平元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37816	整理中	銅銭 (開元通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37817	整理中	銅銭 (聖宋元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37818	整理中	銅銭 (「通」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37819	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37820	整理中	銅銭 (元豐通寶ほか)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37821	整理中	銅銭 (天禧通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-916
37822	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37823	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37824	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37825	整理中	銅銭 (「元」、「實」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37826	整理中	銅銭 (政和通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37827	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37828	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37829	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37830	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37831	整理中	銅銭 (開元通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37832	整理中	銅銭 (富壽神寶)	銅・青銅	中世～近世	89-113
37833	整理中	銅銭 (元符通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37834	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37835	整理中	銅銭 (嘉祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37836	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37837	整理中	銅銭 (元祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37838	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37839	整理中	銅銭 (政和通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37840	整理中	銅銭 (嘉祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37841	整理中	銅銭 (「實」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37842	整理中	銅銭 (嘉定通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-123
37843	整理中	銅銭 (承和昌寶)	銅・青銅	中世～近世	89-124
37844	整理中	銅銭 (「元」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37845	整理中	銅銭 (元祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37846	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37847	整理中	銅銭 (「通寶」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37848	整理中	銅銭 (開元通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37849	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37850	整理中	銅銭 (皇宋通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37851	整理中	銅銭 (元豐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37852	整理中	銅銭 (元豐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37853	整理中	銅銭 (元祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37854	整理中	銅銭 (元祐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37855	整理中	銅銭 (朝鮮通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37856	整理中	銅銭 (祥符通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37857	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37858	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37859	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37860	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37861	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37862	整理中	銅銭 (紹聖元寶)	銅・青銅	中世～近世	89-143
37863	整理中	銅銭 (景德元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37864	整理中	銅銭 (洪武通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37865	整理中	銅銭 (熙寧元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37866	整理中	銅銭 (太平通寶)	銅・青銅	中世～近世	89-147
37867	整理中	銅銭 (熙寧元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37868	整理中	銅銭 (元豐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37869	整理中	銅銭 (景祐元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37870	整理中	銅銭 (紹聖元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37871	整理中	銅銭 (熙寧元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37872	整理中	桐一銭銅貨	銅・青銅	近代	未図化
37873	整理中	銅銭 (熙寧元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37874	整理中	桐一銭銅貨	銅・青銅	近代	未図化
37875	整理中	銅銭 (□宋元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37876	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37877	整理中	銅銭 (皇宋通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
博多遺跡群第 226 次 (調査番号: 1903 市報 1481 集)					
37878	整理中	不明棒状	鉄	中世～近世	未図化
37879	整理中	釘か	鉄	中世～近世	未図化
37880	整理中	釣針	鉄	中世～近世	未図化
37881	整理中	ヤリガンナ	鉄	中世～近世	未図化
37882	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37883	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37884	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
37885	整理中	銅銭 (祥符元寶ほか)	銅・青銅	中世～近世	25-1c
37886	整理中	銅銭 (洪武通寶ほか)	銅・青銅	中世～近世	25-2b
37887	整理中	銅銭 (宋通元寶)	銅・青銅	中世～近世	25-3
37888	整理中	銅銭 (景德元寶ほか)	銅・青銅	中世～近世	25-2p
37889	整理中	銅銭 (「元」、「實」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37890	整理中	銅銭 (皇宋通寶ほか)	銅・青銅	中世～近世	25-4a
37891	整理中	銅銭 (元符通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37892	整理中	銅銭 (太平通寶)	銅・青銅	中世～近世	25-8
37893	整理中	銅銭 (太平通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37894	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37895	整理中	銅銭 (大口通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37896	整理中	銅銭 (至道通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37897	整理中	銅銭 (元豐通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37898	整理中	銅銭 (熙寧元寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37899	整理中	銅銭 (元祐通寶ほか)	銅・青銅	中世～近世	25-2f
37900	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化

処理 No.	遺物 No.	資料名	材質	時代	報告書 Fig
37901	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37902	整理中	銅銭 (元豊通寶)	銅・青銅	中世～近世	25-38
37903	整理中	銅銭 (元符通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37904	整理中	銅銭 (「天」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37905	整理中	銅銭 (元永通寶)	銅・青銅	中世～近世	25-21d
37906	整理中	銅銭 (元符通寶)	銅・青銅	中世～近世	25-7
37907	整理中	銅銭 (口和通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37908	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37909	整理中	銅銭 (太平通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37910	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37911	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37912	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37913	整理中	銅銭 (熙寧元寶)	銅・青銅	中世～近世	25-29
37914	整理中	銅銭 (紹聖元寶)	銅・青銅	中世～近世	25-30
37915	整理中	銅銭 (至和通寶)	銅・青銅	中世～近世	25-31
37916	整理中	銅銭 (元豊通寶ほか)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37917	整理中	銅銭 (皇宋通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37918	整理中	銅銭 (皇宋通寶ほか)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37919	整理中	銅銭 (銭銘不明)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37920	整理中	銅銭 (開元通寶)	銅・青銅	中世～近世	25-2k
37921	整理中	銅銭 (政和通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37922	整理中	銅銭 (元豊通寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37923	整理中	銅銭 (口未口寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37924	整理中	銅銭 (「元」、「寶」の字のみ)	銅・青銅	中世～近世	未図化
37925	整理中	金具	銅・青銅	中世～近世	未図化

博多遺跡群第 239 次 (調査番号: 1960 市報 未刊行)

37926	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37927	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37928	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37929	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37930	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37931	整理中	鉄鍍	鉄	古墳時代	未刊行
37932	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37933	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37934	整理中	鉄鍍	鉄	古墳時代	未刊行
37935	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37936	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37937	整理中	鉄鍍	鉄	古墳時代	未刊行
37938	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37939	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37940	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37941	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37942	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37943	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37944	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37945	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
37946	整理中	鉄鍍	鉄	中世	未刊行
37947	整理中	棒状	鉄	中世	未刊行
37948	整理中	不明	鉄	古代	未刊行
37949	整理中	釘	鉄	中世	未刊行
37950	整理中	釣針	鉄	中世	未刊行
37951	整理中	釘	鉄	中世	未刊行
37952	整理中	馬具	鉄	古代	未刊行
37953	整理中	馬具	鉄	古代	未刊行
37954	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37955	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37956	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37957	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37958	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37959	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37960	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37961	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37962	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37963	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37964	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37965	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37966	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37967	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37968	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37969	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37970	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37971	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37972	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37973	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37974	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37975	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37976	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37977	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37978	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37979	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37980	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37981	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37982	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37983	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37984	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37985	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37986	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37987	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37988	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37989	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37990	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37991	整理中	釘	鉄	古代	未刊行

37992	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37993	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37994	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37995	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37996	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37997	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37998	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
37999	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38000	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38001	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38002	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38003	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38004	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38005	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38006	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38007	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38008	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38009	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38010	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38011	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38012	整理中	釘	鉄	古代	未刊行
38013	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
38014	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
38015	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
38016	整理中	鉄族	鉄	古墳時代	未刊行
38017	整理中	鉄族	鉄	古墳時代	未刊行
38018	整理中	鉄族	鉄	古墳時代	未刊行
38019	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
38020	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
38021	整理中	鉄族	鉄	古墳時代	未刊行
38022	整理中	鉄族	鉄	古墳時代	未刊行
38023	整理中	鉄族	鉄	古墳時代	未刊行
38024	整理中	鉄族	鉄	古墳時代	未刊行
38025	整理中	鉄族	鉄	古墳時代	未刊行
38026	整理中	鉄族	鉄	古墳時代	未刊行
38027	整理中	釣針	鉄	古墳時代	未刊行
38028	整理中	刀子	鉄	古墳時代	未刊行
38029	整理中	鉄族	鉄	古墳時代	未刊行
38030	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
38031	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
38032	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行
38033	整理中	不明	鉄	古墳時代	未刊行

那珂遺跡第 182 次 (調査番号: 2006 市報 1474 集)

38034	整理中	小銅鐸	銅・青銅	弥生時代	51
-------	-----	-----	------	------	----

箱崎遺跡第 113 次 (調査番号: 2023 市報 1485 集)

38035	整理中	刀子	鉄	中世～近世	45-69
38036	整理中	釘	鉄	中世～近世	45-72
38037	整理中	釘	鉄	中世～近世	45-73
38038	整理中	釘	鉄	中世～近世	60-192
38039	整理中	釘	鉄	中世～近世	60-195
38040	整理中	不明小片	鉄	中世～近世	60-94
38041	整理中	釘、金具	鉄	中世～近世	60-196
38042	整理中	火打金、釘	鉄	中世～近世	60-197
38043	整理中	不明棒状	鉄	中世～近世	60-193
38044	整理中	釘か	鉄	中世～近世	未図化
38045	整理中	雁股鉄族 (透かし孔)	鉄	中世～近世	70-263
38046	整理中	不明	鉄	中世～近世	70-267
38047	整理中	金具	鉄	近代	未図化
38048	整理中	刀子か	鉄	中世～近世	70-262
38049	整理中	釘	鉄	近代	70-264
38050	整理中	釘	鉄	近代	70-265
38051	整理中	釘	鉄	近代	70-266
38052	整理中	釘	鉄	近代	未図化
38053	整理中	釘	鉄	近代	未図化
38054	整理中	釘	鉄	近代	未図化
38055	整理中	不明棒状	鉄	中世～近世	未図化
38056	整理中	釘	鉄	中世～近世	未図化
38057	整理中	不明	鉄	中世～近世	未図化
38058	整理中	釘	鉄	中世～近世	未図化
38059	整理中	不明棒状	鉄	中世～近世	未図化
38060	整理中	不明棒状	鉄	中世～近世	未図化
38061	整理中	鏡、鉄、ピンセット状鉄製品	鉄・銅・青銅	中世～近世	45-68～71
38062	整理中	鏡	銅・青銅	中世～近世	63-205
38063	整理中	煙管雁首	銅・青銅	近世	未図化
38064	整理中	不明小片	その他金属	中世～近世	未図化
38065	整理中	不明小片	その他金属	中世～近世	未図化

箱崎遺跡第 116 次 (調査番号: 2045 市報 1486 集)

38066	整理中	釘か	鉄	中世～近世	未図化
38067	整理中	銅銭 (寛永通寶)	銅・青銅	中世～近世	20-117
38068	整理中	銅銭 (聖元元寶)	銅・青銅	中世～近世	20-118
38069	整理中	銅銭 (淳熙元寶)	銅・青銅	中世～近世	20-119
38070	整理中	半銭	銅・青銅	近代	20-120

井相田 A 遺跡第 4 次 (調査番号: 2131 市報 未刊行)

38071	整理中	刀子	鉄	弥生時代	未刊行
-------	-----	----	---	------	-----

博多遺跡群第 250 次 (調査番号: 2150 市報 未刊行)

38072	整理中	釘	鉄	中世	未刊行
38073	整理中	釘	鉄	中世	未刊行
38074	整理中	不明	鉄	中世	未刊行
38075	整理中	不明	鉄	中世	未刊行
38076	整理中	棒状	銅・青銅	中世	未刊行
38077	整理中	不明	銅・青銅	中世	未刊行
38078	整理中	円形	銅・青銅	中世	未刊行

付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等

福岡市埋蔵文化財センター条例

昭和56年12月21日
条例 第66条

(設置)

第1条 発掘調査等で出土した考古学的資料（以下「資料」という。）の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）を福岡市博多区井相田二丁目に設置する。

(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 資料を展示し、公開すること。
- (3) 資料の専門的調査研究を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

第3条 センターに所長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

- (1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者
- (2) センターの管理上支障があると認められる者
(資料の貸出し)

第5条 教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行うものとする。

(損害賠償)

第6条 資料の観覧者又は貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき理由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して3月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

昭和57年教規則第3号により
昭和57年2月22日から施行

福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

昭和57年1月25日
教育委員会規則第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例（昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 削除

(平成24教規則2)

(職員)

第3条 センターに所長を置く。

- 2 前項の職員のほか、特に必要なときは、その他の職員を置くことができる。
- 3 所長は、職員のうちから命ずる。
- 4 所長は、上司の命を受けてセンターの事務を掌理し、及び処理する。
- 5 その他職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。

(平成24教規則2・全改)

(職務権限の代行)

第4条 所長に事故がある場合又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、教育支援部長がその事務を行う。

(平成24教規則2・全改)

(開館時間)

第5条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合

には、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長は必要と認める場合には、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (1) 毎週月曜日
- (2) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館者の心得)

第7条 センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。
- (4) 所定の場所以外に立ち入らないこと。
- (5) 職員が行う管理上必要な指示又は指導に従うこと。

(貸出し)

第8条 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書を教育長に提出しなければならない。

2 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しの許可は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可書を交付して行う。

(令和2教規則22・一部改正)

(寄贈等)

第9条 センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。

2 寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行うものとする。

(申請書等の様式)

第10条 この規則の規定による申請又は許可に関し作成する申請書又は許可書の様式については、教育長が別に定める。

(令和2教規則22・追加)

(委任)

第11条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

(令和2教規則22・旧第10条繰下)

附 則

この規則は、昭和57年2月22日から施行する。

附 則(昭和61年3月31日教規則第2号)

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則(平成3年3月28日教規則第7号)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成4年3月30日教規則第3号)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月29日教規則第1号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月29日教規則第8号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年6月28日教規則第10号)

この規則は、平成19年7月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日教規則第2号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(令和2年8月6日教規則第22号)

この規則は、令和2年9月1日から施行する。

保存処理設備機器の外部使用許可基準

1. 基本的使用許可基準

外部に対する保存処理設備機器の使用許可に際しては、下記の要件を満たすものであることを原則とする。

- (1) 本市の保存処理業務に支障をきたすおそれがないこと。
- (2) 文化財保護の観点から重要性があり、本市の文化財保護行政に寄与するものであること。

2. その他の使用基準

- (1) 使用は、センター職員の指導・助言のもと、原則として外部担当職員が行うものとする。
- (2) 使用に際して必要となる原材料・作業員等は使用者側(外部)の負担とする。
- (3) 一括委託等請負的な処理は許可しないこととする。
- (4) 民間業者等営利を目的とする団体からの依頼については許可しないこととする。
- (5) 緊急性のある場合や特殊なものを除いて、通常の保存処理については受け付けないものとする。
- (6) 使用に際しては、事前にセンター職員と協議のうえ申請書を提出し、許可を得ることを必要とする。
- (7) 使用にあたってはセンター職員の指示に従うこと。また指示以外の行為により機器を破損した場合は、

使用者側の責任において原状回復すること。

3. 対象機器一覧

本基準を適用する保存処理機器は、別表一覧表のとおりとする。

4. 許可基準の理由(略)

本基準は平成12(2000)年3月1日より施行する。

(別紙) *主な保存処理機器の品名のみを列記

大型PEG含浸槽、一体型PEG含浸槽、真空凍結乾燥機、小型真空凍結乾燥機、有機遺物処理装置、減圧含浸装置、工業用電子天秤、偏光顕微鏡、実体顕微鏡、ビデオマイクロスコプ、赤外線カメラ、画像ファイリング装置、分析用電子天秤、赤外線分水計、大型滑走式マイクローム、蛍光X線分析装置、微小部蛍光X線分析装置、X線回析装置、走査電子顕微鏡、顕微赤外分光光度計、透過X線撮影装置、分析用試料作成装置、マグネチックスターラー、ドラフトチャンバー、精密噴射加工機(エアブラシ)、精密グラインダー、送風定温乾燥機、大型送風定温乾燥機、真空乾燥機、卓上電気炉、純水製造装置、超音波洗浄機、真空デシケーター、攪拌機、真空脱泡用デシケーター、シーラー、バキュームシーラー、ホットエアガン

付2 令和4年度福岡市埋蔵文化財調査報告書・年報報告一覧

- 第1467集 博多190：博多遺跡群第221次調査報告(1)(調査番号1805)
第1468集 博多津 博多191：博多遺跡群第221次調査出土の石積遺構(調査番号1805)
第1469集 井相田A遺跡1：第4次調査報告(調査番号2131)
第1470集 久保園遺跡5：第6次調査報告(調査番号2108)
第1471集 山王遺跡13：第16次調査報告(調査番号2016)
第1472集 山王遺跡14：第18次調査報告(調査番号2106)
第1473集 田島A遺跡3：第9次調査報告(調査番号2118)
第1474集 那珂87：那珂遺跡群第182次調査報告(調査番号2006)
第1475集 那珂88：那珂遺跡群第186次調査報告(調査番号2112)
第1476集 那珂89：那珂遺跡群第187・188次調査報告(調査番号2119・2120)
第1477集 西新町遺跡12：第23次調査報告(調査番号2036)
第1478集 野芥遺跡9：第20次調査報告(調査番号2030)
第1479集 野芥遺跡10：第23次調査報告(調査番号2130)
第1480集 博多192：博多遺跡群第213次調査報告(調査番号1710)
第1481集 博多193：博多遺跡群第226次調査報告(調査番号1903)
第1482集 博多194：博多遺跡群第241次調査報告(調査番号2012)
第1483集 博多195：博多遺跡群第244次調査報告(調査番号2032)
第1484集 箱崎67：箱崎遺跡第105次調査報告(調査番号1951)
第1485集 箱崎68：第102次・第113次・第118次調査報告(調査番号1940・2023・2110)
第1486集 箱崎69：箱崎遺跡第116次調査報告(調査番号2045)
第1487集 羽根戸古墳群7：第11次調査報告(調査番号2111)
第1488集 原遺跡23：第37次調査報告(調査番号2040)
第1489集 比恵91：比恵遺跡群第155次調査報告(調査番号1953)
第1490集 別府遺跡1：第2次調査報告(調査番号2039)
第1491集 南八幡遺跡11：第21次調査報告(調査番号2104)
第1492集 吉塚13：吉塚遺跡第16次調査報告(調査番号1952)
第1493集 吉塚14：吉塚遺跡第17次調査報告(調査番号2007)

福岡市埋蔵文化財年報VOL.36 令和3(2021)年度版

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 田村遺跡第29次調査(調査番号2105) | 五十川遺跡第26次調査(調査番号2138) |
| 野多目C遺跡第7次調査(調査番号2113) | 那珂遺跡群第189次調査(調査番号2139) |
| 野芥遺跡第21次調査(調査番号2115) | 大林遺跡第2次調査(調査番号2142) |
| 片江B遺跡第5次調査(調査番号2117) | 博多遺跡群第249次調査(調査番号2144) |
| 五十川遺跡第24次調査(調査番号2126) | 田島和尚頭遺跡第1次調査(調査番号2145) |
| 板付遺跡第76次調査(調査番号2127) | 警弥郷B遺跡第10次調査(調査番号2146) |
| 麦野A遺跡第32次調査(調査番号2129) | 吉塚遺跡第19次調査(調査場号2148) |
| 五十川遺跡第25次調査(調査番号2136) | 井尻B遺跡第48次調査(調査番号2043) |
| 箱崎遺跡第121次調査(調査番号2137) | 野方古墳群1次調査(調査番号7019) |

福岡市埋蔵文化財センター年報 第42号

令和6(2024)年2月29日

発行 福岡市教育委員会
福岡市中央区天神1-8-1
印刷 ダイヤモンド秀巧社印刷株式会社
福岡市東区松田3-9-32

FUKUOKA CITY ARCHAEOLOGICAL CENTER

Annual Report

No.42
2024



福岡市埋蔵文化財センター

所在地 〒 812-0881 福岡市博多区井相田 2 丁目 1-94
電話 (092) 571-2921 FAX. (092) 571-2825
開館時間 午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)
休館日 毎週月曜日・年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)
入館料 無料 (ただし団体見学の案内は事前に連絡が必要です)
交通手段 ■西鉄天神大牟田線 雑餉隈駅ざっしゅうくまから徒歩 15 分
■JR 鹿児島本線 南福岡駅から徒歩 25 分
■西鉄バス 博多バスターミナル 12 番のりばから
行先番号 41 番のバスに乗車約 30 分
板付中学校前 (埋蔵文化財センター前) 下車すぐ
ホームページ <https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/maibun/>

